

第414回

日本泌尿器科学会新潟地方会

《プログラム・抄録》

日時：令和7年9月20日（土）15時40分
会場：パストラル長岡 5階 末広の間
長岡市今朝白2丁目7番25号
TEL：0258-35-1305

次回 第415回 新潟地方会 予告

日時：令和7年12月13日（土）午後2時

会場：未定

演題申込期限：令和7年11月21日（金曜日）

※すべてPCのみの発表とさせていただきます
※一般口演時間は、7分、討論3分（時間厳守）

日本泌尿器科学会会員証を必ずご持参下さい

〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1-757
新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野(泌尿器科学教室)内
日本泌尿器科学会新潟地方会
TEL：025 (227) 2289/FAX：025 (227) 0784
会長 富田 善彦

15:40~15:45

開会の辞

日本泌尿器科学会新潟地方会会長

富田 善彦

15:45~16:35

座長 風間 明

1. 憩室内に嵌頓した巨大膀胱結石の一例

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科¹⁾、新潟大学 特命理事²⁾
坪谷啓汰¹⁾、星野華奈¹⁾、鳥羽智貴¹⁾、石崎文雄¹⁾、山名一寿¹⁾、星井達彦¹⁾、小原健司¹⁾、齋藤和英¹⁾、
富田善彦^{1) 2)}

症例は75歳男性。4年前から膀胱憩室内結石を指摘されていたが、無症状のため経過観察していた。今回、血尿と貧血にて前医を受診。シロスタゾールの内服中止や膀胱灌流で血尿の改善乏しかったことから当科初診。開腹膀胱憩室内結石摘除術を施行し、直径6cm大の膀胱結石と砂泥状の結石約100個を摘出した。結石分析はリン酸マグネシウム・アンモニウムであった。術後、前記薬剤を再開した後も症状の再燃は認めなかった。文献的考察を交えて報告する。

2. EP療法中に多臓器不全に陥った高齢精巣胚細胞腫瘍の一例

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科¹⁾、新潟大学 特命理事²⁾
柳佳輝¹⁾、石川晶子¹⁾、佐波達朗¹⁾、池田正博¹⁾、安楽力¹⁾、田崎正行¹⁾、齋藤和英¹⁾、富田善彦^{1) 2)}

症例は79歳男性。LDH高値を契機に左精巣腫瘍（非セミノーマ）傍大動脈リンパ節転移と診断された。精巣摘出後、エトポシド+シスプラチン（EP）療法を66%doseで4コース行う方針とした。EP療法2コース目に尿路を感染源とする敗血症性ショックを起こし、急性腎障害、うっ血性心不全、胸水による呼吸不全を伴う多臓器不全へ陥った。集中治療及び血液透析により救命できたが、化学療法の継続は断念した。高齢精巣腫瘍患者の治療につき、文献的考察を交えて検討する。

3. 尿路結石治療を契機に発見された原発性副甲状腺機能亢進症の症例の検討

新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院 泌尿器科
中澤徹、丸山亮、渡邊和博、高橋英祐、照沼正博

尿路結石の5%（再発例の12%）は原発性副甲状腺機能亢進症が原因であるとされている。近年はドックや入院時スクリーニングで血清Ca値を測定し発見されることも増加している。当院での尿路結石かつ原発性副甲状腺機能亢進症と診断された6症例について診断契機や経過等を検討し、文献的考察を踏まえ報告する。

4. 包皮シリコン肉芽腫により尿閉をきたした一例

柏崎総合医療センター 泌尿器科
西山紘貴、羽入修吾

症例は78歳男性。真性包茎による尿閉で救急外来を受診した。包皮の全周性に硬結を触れ、病歴聴取の結果、30年以上前に包皮へのシリコン注入を行ったことが分かった。後日、包皮異物摘出術・包茎手術を行い、病理組織学的にシリコン肉芽腫と診断した。菲薄化した包皮の一部に壊死があったが、上皮化し、現在問題なく排尿できている。陰茎への異物注入について、過去の報告を踏まえて考察する。

5. 進行胃癌に対するニボルマブを投与による免疫関連の有害事象としての非細菌性膀胱炎症例の経験

新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院、泌尿器科¹⁾、病理診断科²⁾、放射線診断科³⁾、消化器内科⁴⁾

有波健太郎¹⁾、伊藤梢絵²⁾、瀧澤裕里恵³⁾、長谷川剛²⁾、池田洋平³⁾、須田剛士⁴⁾、原昇¹⁾、西山勉¹⁾

70歳男性が進行胃癌に対し、カペシタビン、オキサリプラチン、ニボルマブの併用療法を受けていた。4コース後、重度の尿道痛と血尿を認めた。尿細菌培養は陰性であった。膀胱鏡検査では、易出血性浮腫状粘膜を認めた。CT検査では膀胱壁に浮腫性変化を認めたが、上部尿路には病変は認められなかった。膀胱壁の生検では、膀胱粘膜のびらんと出血が認められ、リンパ球浸潤が認められた。免疫組織学的染色では、CD3およびCD5陽性T細胞に加え、CD4およびCD8陽性細胞も認められ、膀胱炎は免疫関連の有害事象である可能性が示唆された。症状が日々増悪していたため、プレドニゾロンを1日25mgで開始し、徐々に減量した。プレドニゾロン投与後、排尿症状は劇的に改善し、膀胱鏡検査およびCT検査でも有意な改善を認めた。

《休 憩 16：35～17：00》

地方会終了後、17：00よりサテライトセミナーが予定されています。